



写真:アカガシの巨木 (撮影:廣澤順也/平成26年5月9日)

「アバダントしらとり郷土の森」

郷土の森から甕岳山頂へ向かうルート沿いで出会える幹回り約740cmのアカガシは、この森一番の巨木です。

アバダントしらとり郷土の森は、白鳥温泉からえびの高原へと続く森です。白鳥温泉から郷土の森を経て、標高1301mの甕岳山頂までは標高差約700m、往復約8時間のロングルートです。郷土の森を周回する約4時間のルートもあります。

郷土の森には幹回り280cm以上、樹齢200年を超す大木が約620本あります。ルート沿いで出会える幹回り約740cmのアカガシはこの森一番の巨木です。このような豊かな森はたいへん貴重です。周囲の植物やいろいろな種類のきのこ、野鳥などを観察しながらじっくり森歩きを楽しむことができます。

登り始めは、スダジイやタブなどの照葉樹に囲まれています。次にモミやツガなどの針葉樹が多くなります。さらに登ると、ミズナラやカエデなど落葉広葉樹の森に変わっていきます。これは高いところほど気温が低く積雪があることによる、植物の垂直分布です。森を歩く際は、登山靴や地図などの装備を整え、道に迷わないよう気をつけて歩きましょう。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

アカガシ
Quercus acuta

ブナ科コナラ属